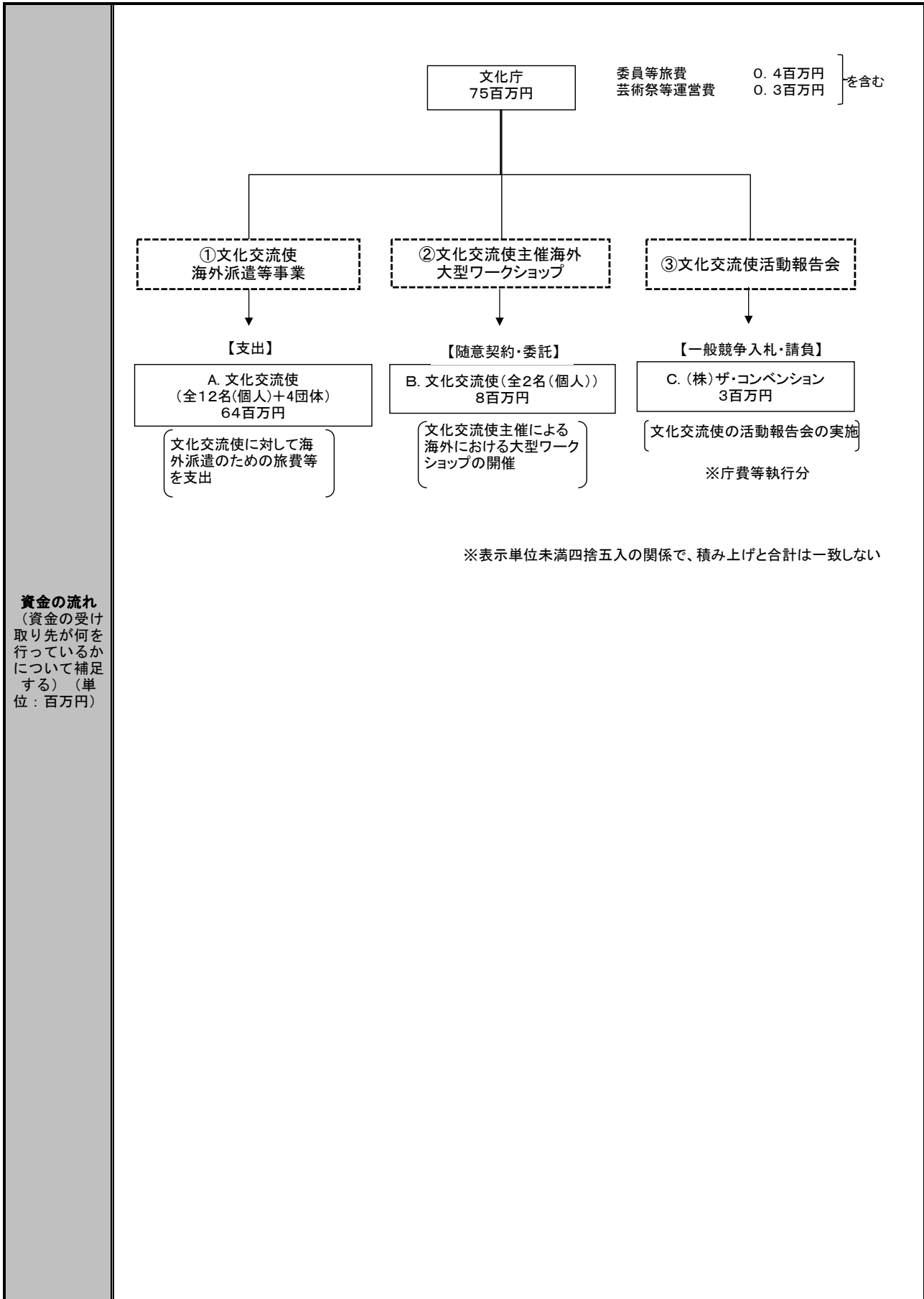


平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名		芸術家・文化人等による文化発信推進事業 －文化庁「文化交流使」の派遣等－		担当部局庁	文化庁			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		平成15年度		担当課室	国際課			国際課長 佐藤 透	
会計区分		一般会計		施策名	XII-3 日本文化の発信及び国際文化交流の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		文化芸術振興基本法 第15条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		トップレベルの文化人等が海外において各文化交流使の創意に満ちた日本文化紹介活動を展開することにより、我が国の文化的イメージの向上と諸外国との国際文化交流の推進に努めるとともに、文化人や芸術家の間のネットワーク形成を強化する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		①我が国の文化人、芸術家・芸術団体等を一定期間、文化庁「文化交流使」に指名し、その専門分野に関する実演、講演会、講義などを海外で実施することにより、日本文化を広く海外に紹介する。 ②文化交流使が、滞在期間において、各自の専門分野において、補助者を現地に呼び寄せて大型の実演等(大型ワークショップ)を開催。 ③文化交流使活動報告会を実施。							
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算 の 状 況	当初予算	110	110	100	83	79	
			補正予算	△ 14	△ 28	0	0		
			繰越し等	0	0	0	0		
			計	96	82	100	83	79	
		執行額		85	73	75			
執行率(%)		88.5%	89.0%	75.0%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
		我が国の文化的イメージの向上と諸外国との国際文化交流の推進、及び文化人や芸術家間のネットワーク形成強化については、短期的な目標達成ではなく、中長期にわたり継続して派遣していくことで築き上げられるものであるため、成果がすぐに現れるものではなく、定量的な指標を設定することは困難である。		成果実績					
				達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		文化交流使の指名数及び派遣地域数とする。		活動実績 (当初見込み)	指名数・ 派遣地 域数	15・3	16・3	16・3 (22・3)	— (16・3)
単位当たり コスト		5(百万円/指名数)		算出根拠	平成22年度執行額75百万円/指名数16				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金		32	29					
	文化人等派遣旅費		44	43					
	庁費		6	6					
	委員等旅費等		0.4	0.5					
計		83	79						
※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない									

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	選定にあたっては、公募を行う性格のものではない。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>日本文化の効果的な海外発信を図るため、文化交流使の候補者については、在外公館に対する要望調査を行い、諸外国におけるニーズを把握した上で、その選定を行うこととしているが、今後は、さらに実効性を高めるため、国際交流基金や関係団体からも情報収集を行うとともに、重点的派遣先国を設けるなど、より戦略的な選定方法を検討することとしている。</p> <p>また、従来、実施していた文化交流使によるワークショップについては、一定の目的を達成したことから、平成22年度をもって廃止する一方、平成23年度においては、グループ型交流使の創設など、より現地のニーズに応じた実効性の高い派遣を可能とするよう改善を図った。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		<p>1. 事業評価の観点: この事業は、我が国の文化的イメージの向上と諸外国との国際文化交流の推進を図るため、文化交流使を海外へ派遣するものであり、予算と執行の乖離是正の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: 本事業は、平成22年度において予算に不用が生じている。今後、予算執行の実績を的確に把握し、予算との差異の要因等を十分精査しつつ、予算の見直しを図るべきである。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>予算執行の実績を的確に把握し、文化交流使の派遣者数等を見直し、概算要求に▲4百万円反映した。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			



費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A. 文化交流使(個人A)			C.(株)ザ・コンベンション		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	交通・滞在費	9	事業費	雑役務費、損借料、通信費等	2
	諸謝金	活動謝金	3	人件費	ディレクター等人件費	1
	計		12	計		3
	B.文化交流使(個人A)			D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
事業費	旅費、諸謝金、損借料等	6				
計		6	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	文化交流使(個人A)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	12	—	—
2	文化交流使(個人B)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	12	—	—
3	文化交流使(個人C)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	6	—	—
4	文化交流使(個人D)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	5	—	—
5	文化交流使(個人E)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	5	—	—
6	文化交流使(個人F)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	4	—	—
7	文化交流使(個人G)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	3	—	—
8	文化交流使(個人H)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	3	—	—
9	文化交流使(個人I)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	3	—	—
10	文化交流使(個人J)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	2	—	—

※謝金及び旅費であるため「入札者数」「落札率」は「—」としている

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	文化交流使(個人A)	大型の実演(大型ワークショップ)等実施業務	6	随意契約	100%
2	文化交流使(個人B)	大型の実演(大型ワークショップ)等実施業務	2	随意契約	100%

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ザ・コンベンション	文化交流使の活動報告会の実施	3	3	88.6%